

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 29 年 8 月 10 日 (2017.8.10)

【公表番号】特表 2017-507545 (P2017-507545A)  
 【公表日】平成 29 年 3 月 16 日 (2017.3.16)  
 【年通号数】公開・登録公報 2017-011  
 【出願番号】特願 2016-544475 (P2016-544475)  
 【国際特許分類】

H 0 4 N 19/70 (2014.01)

H 0 4 N 19/30 (2014.01)

H 0 4 N 19/597 (2014.01)

【F I】

H 0 4 N 19/70

H 0 4 N 19/30

H 0 4 N 19/597

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 30 日 (2017.6.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マルチレイヤビットストリームのビデオ情報を復号するための方法であって、

前記ビデオ情報中に候補レイヤ間参照ピクチャが存在するかどうかを決定することと、  
 ここにおいて、前記ビデオ情報が、複数のサブセットを含むレイヤ間参照ピクチャセット  
 (R P S) を備え、前記候補レイヤ間参照ピクチャは、R P S サブセットにまだ置かれて  
 いないレイヤ間参照ピクチャである、

前記候補レイヤ間参照ピクチャが存在しないと決定したことに応答して、前記候補レイ  
 ヤ間参照ピクチャが属するレイヤ間 R P S サブセットを決定することと、前記候補レイヤ  
 間参照ピクチャが属する前記レイヤ間 R P S サブセットの前記決定が、前記候補レイヤ間  
 参照ピクチャのビュー識別子に少なくとも部分的に基づく、

前記候補レイヤ間参照ピクチャが属する前記レイヤ間 R P S サブセット中に参照ピク  
 チャが存在しないことを示すことと、

前記候補レイヤ間参照ピクチャが属する前記レイヤ間 R P S サブセット中に参照ピク  
 チャが存在しないことを前記示すことに少なくとも部分的に基づいて、ビデオビットストリ  
 ームを復号することと

を備える、方法。

【請求項 2】

前記候補レイヤ間参照ピクチャが属する前記レイヤ間 R P S サブセットを前記決定する  
 ことが、i) 現在レイヤのビュー識別子と、i i) 前記候補レイヤ間参照ピクチャの前記  
 ビュー識別子と、i i i) ベースレイヤのビュー識別子とに基づく、請求項 1 に記載の方  
 法。

【請求項 3】

前記ビデオ情報を前記復号することが、マルチビュービデオコード化規格に少なくとも  
 部分的に基づく、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

マルチレイヤビットストリームのビデオ情報を復号するための機器であって、  
前記ビデオ情報を記憶するように構成されたメモリと、  
前記メモリと通信しており、

前記ビデオ情報中に候補レイヤ間参照ピクチャが存在するかどうかを決定することと、  
ここにおいて、前記ビデオ情報が、複数のサブセットを含むレイヤ間参照ピクチャセット(RPS)を備え、前記候補レイヤ間参照ピクチャは、RPSサブセットにまだ置かれていないレイヤ間参照ピクチャである、

前記候補レイヤ間参照ピクチャが存在しないとの決定に応答して、前記候補レイヤ間参照ピクチャが属するレイヤ間RPSサブセットを決定することと、前記候補レイヤ間参照ピクチャが属する前記レイヤ間RPSサブセットの決定が、前記候補レイヤ間参照ピクチャのビュー識別子に少なくとも部分的に基づく、

前記候補レイヤ間参照ピクチャが属する前記レイヤ間RPSサブセット中に参照ピクチャが存在しないことを示すことと、

前記候補レイヤ間参照ピクチャが属する前記レイヤ間RPSサブセット中に参照ピクチャが存在しないことを前記示すことに少なくとも部分的に基づいて、ビデオビットストリームを復号することと

を行うように構成されたプロセッサと

を備える、機器。

【請求項5】

前記プロセッサは、i) 現在レイヤのビュー識別子と、i i) 前記候補レイヤ間参照ピクチャの前記ビュー識別子と、i i i) ベースレイヤのビュー識別子とに基づいて、前記候補レイヤ間参照ピクチャが属する前記レイヤ間RPSサブセットを決定するように更に構成された、請求項4に記載の機器。

【請求項6】

前記プロセッサが、マルチビュービデオコード化規格に少なくとも部分的に基づいて前記ビデオ情報を復号するように更に構成された、請求項4に記載の機器。

【請求項7】

マルチレイヤビットストリームのビデオ情報を符号化するための方法であって、

前記ビデオ情報中に含まれるアクセス単位がビットストリーム終端(EoB)ネットワーク抽象化レイヤ(NAL)単位を含むかどうかを決定することと、

制約に従って前記EoB NAL単位のためのレイヤ識別値を0に設定することと、前記制約は、0のレイヤ識別値を有するような前記ビットストリーム内の全てのEoB NAL単位の制限である、

前記レイヤ識別値のための0の値に少なくとも部分的に基づいて、前記ビデオ情報を符号化することと

を備える、方法。

【請求項8】

マルチレイヤビットストリームのビデオ情報を符号化するための機器であって、

前記ビデオ情報を記憶するように構成されたメモリと、

前記メモリと通信しており、

前記ビデオ情報中に含まれるアクセス単位がビットストリーム終端(EoB)ネットワーク抽象化レイヤ(NAL)単位を含むかどうかを決定することと、

制約に従って前記EoB NAL単位のためのレイヤ識別値を0に設定することと、前記制約は、0のレイヤ識別値を有するような前記ビットストリーム内の全てのEoB NAL単位の制限である、

前記レイヤ識別値のための0の値に少なくとも部分的に基づいて、前記ビデオ情報を符号化することと

を行うように構成されたプロセッサと

を備える、機器。